

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホームまきやま

作成日: 平成 27年 3月 20日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11 (7)	<運営に関する職員意見の反映> 部署内の会議が定期的に行われていない。	平成27年度は年間で4回以上の部署内会議を行う。	平成27年度、5月、8月、11月、2月に部署内会議を行う。情報の共有、職員の意識の共有を行う。	12ヶ月
2	23 (9)	<思いや意向の把握> 個人ファイルの中にセンター方式アセスメントシートが整備されているが、個人の思いや、希望、意向をお聞きしても情報が加筆整理されていない。職員が変わっても利用者の情報をまとめて見れる様にした方がよい。	受診であったり、家族からの新しい情報を個人ファイルに加筆を行う。意向はケアプランに記載する。	カンファレンスや家族からの新しい情報は、その日のケース記録に残しているが、今後はインテーク又は個人ファイルの追加情報の記載用紙に担当職員、又は計画作成者が記載する。	12ヶ月
3	24 (9-2)	<これまでの暮らしの把握> ご利用者お一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境の新たな情報を個人ファイルに加筆されていない。	カンファレンス等でご家族からご本人の今までの生活の状況をお聞きしたら、個人ファイルに加筆を行う。	生活歴などはインテーク、アセスメントシート、又は追加情報の記載用紙に担当職員、又は計画作成者が記載する。	12ヶ月
4	33 (12)	<重度化や終末期に向けた方針の共有と支援> 重度化した場合や終末期のあり方について家族に確認するとともに、全職員が重度化や看取りの対応についての意識の共有を図る事ができていない。	重度化した場合を想定し、事業所としてグループホームの職員としてどう対応していくか、話し合い意識の共有を図る。	家族に重度化した場合のことを本人、ご家族と話し合い(カンファレンス等で)事業所でできることの説明を行う。そして部署内会議で意見交換を行い、対応方法について確認を行う。(H27.3月の部署内会議でも意見交換を行った。)	6ヶ月
5	34 (12-2)	<急変や事故発生の備え> 夜勤は一人体制である為、夜間帯の急変、事故対応訓練など、より実践的な訓練の実施を行った方がよい。	夜間帯での急変、事故対応のシュミレーション訓練を行う。	部署内会議などで、複数の職員で夜間帯での急変、事故対応、より実践的な訓練を日中との違いを確認し、適切に対応できるよう行う。	6ヶ月
6	54 (20)	<居心地よく過ごせる居室の配慮> 現在は日中ご自分の居室で過ごされるよりもリビングで皆さんと一緒に過ごされる方が多い。しかし、今後ご利用される方は居室で過ごしたいと思われる方がいられるかもしれない。居室の環境の工夫をすることで、居室で過ごされる方もいられるかもしれない。居室の環境は現在の状況でよいのか見直しが必要ではないか。	居室の環境のみなおしを行い、その方にあった落ち着ける環境作りを行っていく。	各居室担当が中心になり、ご利用者の居室の環境を考えていく。どういう部屋にしたいのかご利用者にお聞きし、ご家族にも相談、協力して頂き一緒に居室の環境作りを行っていく。(他のご利用者を自分の居室に呼べるようにしたいのか?衣類を確認しやすいようにした方がよいのか?写真や思い出の品を増やした方がよいのか?テレビを置いた方がよいのか?)	12ヶ月